

第7回POC超音波研究会ハンズオンセミナーのご案内

第7回は、小児、頸部、神経、肺・下肢の4コースとなります。

(注) 当日のインストラクターは変更のある場合がございます。あらかじめご了承ください。

ハンズオンセミナー 1 (小児)

| 2019年7月27日(土) AM9:00～ (小児) (3時間20分) | | |
|--|-------|----------------------------------|
| コース名： 小児救急で使えるPOC超音波検査 | | |
| 目的と内容 | | |
| <p>近年、小児でも診療医による超音波検査が普及してきました。非侵襲性や放射線被曝がないこともあり、超音波検査は小児の多くの病態・疾患に適応される検査ですが、その診断精度は術者に依存するところが大きいのが問題です。本コースでは小児に適応のあるPOC超音波検査のうち、1講習で2-3領域を取り上げ、講義と実技、シミュレーションを組み合わせることでその知識と技術を習得することを目的としています。今回は心臓(ショック・一部の先天性心疾患)、肺・気道、骨・軟部組織・神経の3領域を取り上げ少しずつ勉強していきます。小児特有の疾患を中心に講義・実技で楽しんで学習していただければ幸いです。</p> | | |
| | 氏名 | 所属 |
| ディレクター | 市橋 光 | 自治医科大学さいたま医療センター 小児科 |
| ディレクター | 森 崇晃 | Familuy Medical Practice Vietnam |
| コーディネイター | 森 崇晃 | Familuy Medical Practice Vietnam |
| インスト | 福原 信一 | 淡路医療センター 小児科 |
| インスト | 竹井 寛和 | 東京都立小児総合医療センター 救命救急科 |

ハンズオンセミナー 2 (頸部)

| 2019年7月27日(土) PM1:40～ (頸部) (3時間20分) | | |
|--|-------|-------------------|
| コース名： 頸部超音波を使いこなす | | |
| 目的と内容 | | |
| <p>頸部には、狭い領域に重要な臓器が密集しており、様々な疾患や病態を診断する上で大切な領域といえる。したがって、診療科や専門領域を問わず、頸部の解剖を知り、異常所見を超音波で即座に診断できることが臨床現場では求められる。今回のハンズオンでは、頸部全体の解剖学的構造、実際の生体内での動きや働き、発生しやすい疾患の特徴とその部位想定しつつ、POCUSによって頸部全体の状態を素早く把握し疾患の察知ができるようになることを目的とする。超音波ガイド下に施行する頸部のインターベンションに関しても学習する。</p> | | |
| 受講対象者： 頸部領域の超音波診断にご興味のある方 | | |
| | 氏名 | 所属 |
| ディレクター | 古川まどか | 神奈川県立がんセンター 頭頸部外科 |
| コーディネイター | 古川まどか | 神奈川県立がんセンター 頭頸部外科 |
| インスト | 福原 隆宏 | 鳥取大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
| インスト | 下出 祐造 | 金沢医科大学 頭頸部外科 |
| インスト | 渡邊 至 | 横浜南共済病院 麻酔科 |
| インスト | 多田 明良 | 国保北山村診療所 |

第7回POC超音波研究会ハンズオンセミナーのご案内

第7回は、小児、頸部、神経、肺・下肢の4コースとなります。

ハンズオンセミナー 3 (神経)

| 2019年7月28日(日) AM9:00~ (神経) (3時間20分) | | |
|---|-------|----------------|
| コース名：非麻酔科医および初級麻酔科医のための超音波ガイド下末梢神経ブロック講座 | | |
| 目的と内容 | | |
| <p>超音波診断装置の普及によって、手術室で末梢神経ブロックを施行する機会が多い。麻酔管理上および術後管理上、末梢神経ブロックの恩恵は大きいからであるが、例えば近年では大腿骨頸部骨折のクリニカルパスにER初療室での大腿神経ブロックが導入されるといった施設もあるように、手術室以外での活用も普及しつつある。そこで本コースでは、麻酔科以外の先生および超音波ガイド下神経ブロック初級者の麻酔科医を対象に、末梢神経ブロックを始めに当たって必要事項を系統的に学ぶ機会を提供したいと思う。末梢神経ブロックにおいては、画像の描出がまず第一に重要であるが、次いで実際に穿刺するために針先の描出が不可欠となる。今回は、基本的な事項を学ぶ講義の後、健康被験者に超音波を当てて初級者向けの標的神経（大腿神経、坐骨神経、腕神経叢）を描出し、さらに穿刺シミュレーターを使って実際の穿刺の練習も行う。本コースの到達目標は、自施設に教えてくれるエキスパートがいなくても安全・有効に超音波ガイド下末梢神経ブロックを始められるようになる、ということである。なお、本コースは日本区域麻酔学会の認定講習として申請予定である。</p> | | |
| 受講対象者：超音波ガイド下神経ブロック初心者や初級者の麻酔科医および麻酔科以外の先生 | | |
| | 氏名 | 所属 |
| ディレクター | 野村 岳志 | 東京女子医科大学 集中治療科 |
| コーディネイター | 山本 寛人 | 東京医科歯科大学 麻酔科 |
| インスト | 野村 岳志 | 東京女子医科大学 集中治療科 |
| インスト | 渡邊 至 | 横浜南共済病院 麻酔科 |
| インスト | 逢坂 佳宗 | 川崎市立川崎病院 麻酔科 |
| インスト | 山本 寛人 | 東京医科歯科大学 麻酔科 |

ハンズオンセミナー 4 (肺・血管)

| 2019年7月28日(日) PM1:40~ (肺・血管) (3時間20分) | | |
|--|-------|------------------------|
| コース名：超音波検査による呼吸困難へのアプローチ | | |
| 目的と内容 | | |
| <p>呼吸困難の原因として、心不全、肺原発の呼吸困難（気胸や肺炎など）、肺外からの呼吸困難（DVTからのPEや結果としての右心負荷）が挙げられ、これらの鑑別に超音波検査が非常に有用です。このハンズオンでは、肺原発病変の呼吸困難（気胸や肺炎や肺水腫など）、肺外病変からの呼吸困難（IVC/DVTなど）の講義の後に、肺と下肢深部静脈、下大静脈の超音波検査を実習します。</p> | | |
| 受講対象者：基本的事項から説明します。検査は簡便ですので、前期研修医であっても十分に理解し、実施できる内容です。 | | |
| | 氏名 | 所属 |
| コーディネイター | 福原 信一 | 兵庫県立淡路医療センター 小児科 |
| インスト | 児玉 貴光 | 多治見市民病院 救急総合診療部 |
| インスト | 濱野雄二郎 | 信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター |
| インスト | 太田 智行 | 国際医療福祉大学病院 放射線医学講座 |
| インスト | 大内 崇裕 | 八郷整形外科内科病院 |
| インスト | 山田 均 | 土浦協同病院 救急集中治療科 |